



パキスタン 中古電動車いす提供による重度障害者の社会参加支援事業

事業分野 開発途上国・地域の人びとの貧困削減や生活改善・向上に貢献する事業

■実施団体

特定非営利活動法人 さくら・車いすプロジェクト

所在地: 東京都

WEBサイト: [さくら車いすプロジェクト](https://sakurawheelchairproject.org/)

■事業期間

2024年1月22日～2025年1月21日

■対象国・地域

パキスタン国ラホール市

■事業目標・内容

- (1) 日本国内の集荷・輸送体制の強化
- (2) 他国への支援展開を見据え、対象地域におけるこれまでの知見・ノウハウの蓄積

■事業実施の背景

実施団体には、中古電動車いす提供を通じた障害者支援活動実績とその波及効果から、現在アジア各国から多くの支援要請が届いている状況。今後支援を希望するより多く重度障害者ニーズに応えるべく、日本国内での集荷・輸送体制のさらなる強化が求められていた。また、他国への支援展開を見据え、実施団体がパキスタンでの活動経験を通じて培われた紛争・災害下の地域で求められる「車いすの迅速な提供」に対応する知見・ノウハウをまとめる必要があった。



団体のこれまでの取り組み

2011年設立以降、パキスタン・ネパール・モンゴル・コスタリカ等への中古の手動・電動車いすの提供を行うとともに、姿勢保持・褥瘡予防のためのクッションや手動車いすの製作・メンテナンスの技術研修を実施してきた。現在、パキスタンでは毎月500台以上の手動車いすが製作されるまでに至り、政府による障害者給付システム普及にも貢献。日本の中古電動車いす提供と現地側の技術者育成による重度障害者の外出が促進された結果、バス・建物等インフラのバリアフリー化が進み、重度障害者の社会参加を飛躍的に後押ししている。

事業実施の工夫点・成果

- ・電動車いすの提供を受けた障害者の9割以上が持続的に活用していることを確認。障害者の移動の自由の向上に貢献
- ・現地住民の障害者に対する理解と支援意識の向上
- ・現地行政機関や医療機関、障害者団体との協力・連携強化
- ・他国へ展開可能な持続可能な運営体制の構築

